

令和6年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）について

氏 名 (年齢 ※表彰式時点) 現 職	功績概要
<p>中 谷 一 志</p> <p>(60 歳)</p> <p>廿日市市立廿日市小学校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県教育委員会において、指導主事、管理主事として教育指導や人事服務管理に従事し、本県教育行政の振興に寄与した。 ○ 広島県西部教育事務所芸北支所指導課長、支所長として、管内の市町教育委員会及び学校に対する的確な指導・助言を行うとともに、広島県教育委員会義務教育指導課長、個別最適な学び担当課長を歴任し、学びの変革の全県的な普及・充実に貢献した。 ○ 廿日市市立宮園小学校長として、個別最適な学びに関する実証研究事業の指定を受け、自由進度学習を中核とした「自立した学び手」を育成する研究を行った。その先進的な取組は県内のみならず、県外からの視察も受け入れ、研究事業の成果を還元・普及した。 ○ 教育行政の経験を通して得た高い見識と先見の明により、公立学校の果たすべき役割を明確にし、当該校の教職員の育成にとどまらず、大竹市・廿日市市公立小学校校長会長として、他校の校長等にも助言した。 ○ 中央教育審議会の臨時委員として、国の今後の教育の在り方について、学校現場の立場から意見を述べている。
<p>山垣内 雅 彦</p> <p>(60 歳)</p> <p>広島県立三次中・高等学校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校における教育相談体制の整備や個別最適な学び・協働的な学びを軸に学習者基点の主体的な学びの徹底に取り組むことで教育活動の充実を進めている。 また、世羅高等学校においては、地元企業とスポーツ（駅伝）分野における連携協力に関する協定を締結し、地域連携を強化した。 さらに、総合技術高等学校においては、県内唯一、工業、商業及び家庭に関する6学科を設置している専門高等学校において、探究的な学びを深める「パワフル6」を立ち上げ、生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発を進めた。また、「主体的な学びの実現に向けた授業改善」と題し、教育センターと連携した研修を年間通して実施するなど、学校全体の教育成果を上げていく取組を進め、校内における人材育成にも尽力した。 ○ 県の教育行政（生徒指導）に長く携わるとともに、卓越したリーダーシップを発揮し、組織的な生徒指導体制及び学校安全体制の構築を推進し、安全・安心な学校づくりに貢献している。 ○ 広島県公立高等学校長協会の会長として、広島県教育の現状を丁寧に分析し課題を明確化するとともに、県教育委員会と密に連携し、強いリーダーシップのもと、スピード感をもった的確な対応をすることにより、校長協会をけん引している。
<p>三 浦 直 宏</p> <p>(60 歳)</p> <p>広島県立広島中央特別支援学校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚障害教育に関する指導方法、学習指導案等を積極的にホームページに公開するとともに、全国の視覚障害教育に携わる者を対象とした公開授業研究会を毎年実施するなど、全国の視覚障害教育をリードする授業づくりに尽力した。昨年度からは、全国の視覚障害特別支援学校をオンラインでつないだ授業を中心となって推進している。児童生徒等が、全国盲学校珠算競技大会、全国盲学校弁論大会、全国盲学生点字競技大会といった全国大会で活躍するなど成果が顕著である。これらの取組を通じて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を進めており、広島県の特別支援教育における「学びの変革」をリードしている。 ○ 3年間にわたり広島県公立高等学校長協会及び広島県特別支援学校長会の様々な役割（校長協会副会長、特別支援学校長会会長）を積極的に務め、特別支援教育をはじめとする広島県の教育の充実・発展に尽力している。 ○ 高いリーダーシップを発揮し、県内唯一の視覚障害特別支援学校として、幼稚部から高等部専攻科まで幅広い年齢を対象にして、視覚障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加に向け、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす、多様できめ細かな教育活動を行うとともに、広島県内全域の視覚障害教育のセンター的機能を発揮できるよう、組織的な学校経営と人材育成を図り、学校を活性化させている。